

石川県における外国人観光客の動態・消費・満足に関する研究

金沢大学大学院 自然科学研究科 学生会員 ○鈴木 大智
 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 正会員 藤生 慎
 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 フェロー 高山 純一
 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 正会員 中山 晶一郎

1. 背景・目的

近年、急速なグローバル化とともにわが国日本においても、文化・政治・経済などあらゆる分野において国際化が進み、外国人の与える影響が大きくなっている。中でも、2020年の東京オリンピックを控えた日本にとって、観光分野における外国人観光客の誘致及び周辺環境の整備は急ぐべき必須項目である。そこで、本研究では、石川県における外国人観光客を対象に、アンケート調査を1年間にわたって実施し、その動態・消費・満足度の傾向分析を行う。調査を通して把握したことにより、石川県を中心に、その他の国際観光戦略を実施している観光地域における、外客受入整備の手がかりを得ることを狙いとする。

2. 分析手法

本研究では、石川県を訪れた外国人観光客を対象に複数パターンのアンケートを実施し、動態、消費・満足度調査を行う。アンケート調査は1年を通じて実施する予定であり、外国人観光客約1000人を対象として行う。

2-1. 調査期間

H27年度内に①4～6月、②7～9月、③10～12月、④1～3月の4つの時期に分けて調査を実施。尚、アンケートはその場記入式であり、毎週平日1回、休日1回のアンケート調査を1セットとして毎月実施する。また、各時期におけるアンケート回収数は約250部を目標とする。

2-2. 調査場所・目標回収数

以下に、アンケートの調査場所および各場所での目標回収数を示す。調査場所右の括弧内の数字はアンケート目標回収数である。

表1 外国人観光客向けアンケートの目標回収数

動態調査	消費・満足度調査	
兼六園(件)	金沢駅(件)	小松空港(件)
1000	780	220

2-3. アンケート回収数

現在、H27年5月から8月までのアンケートの集計および分析を行っており、各月の回収数は表2の通りである。

表2 アンケート回収数

	動態調査	消費満足度調査	
	兼六園(件)	金沢駅(件)	小松空港(件)
5月	130	109	14
6月	63	60	49
7月	39	24	3
8月	40	36	5

4. 集計結果

27年5月から8月までに回収した、動態調査アンケートの一部の設問に関する分析結果および、満足度調査アンケートの単純集計結果の一部を示す。

平成27年度石川県外国人旅行者「動態調査」調査

●3-1.2 出発から帰国までの訪歴ルートと現在地(石川県)訪歴の直前・直後に訪れた都市及びその交通手段について答えてください。(a及びjは表1から選択。b及びkは表2から選択。e及びgは表3から選択。f及びhは表4から選択。c,d,iは表5から選択。)

【表1】経由地の選択肢

- ①直行便を利用
- ②ソウル
- ③上海
- ④香港
- ⑤シンガポール
- ⑥バンコク
- ⑦台北
- ⑧その他

【表2】入国地・出国地の選択肢

- ①新千歳空港
- ②成田国際空港
- ③東京国際空港(羽田)
- ④新潟空港
- ⑤富山空港
- ⑥能登空港
- ⑦小松空港
- ⑧金沢港
- ⑨静岡空港
- ⑩中部国際空港
- ⑪関西国際空港
- ⑫その他の空港
- ⑬その他の港湾

【表3】交通機関の選択肢

- ①飛行機
- ②鉄道(北陸新幹線)
- ③鉄道(「ワグネル」等在来線)
- ④高速バス
- ⑤レンタカー
- ⑥ハイヤー、タクシー
- ⑦船(クルーズ)
- ⑧その他

【表4】切符の種類(e及びgで②③④と回答した場合のみ)

- ①JRジャパンレールバス
- ②JR北陸エリアバス
- ③JR関西・北陸エリアバス
- ④高山・北陸エリアバス
- ⑤JR金沢・加賀ぐるりんバス
- ⑥丹波道バスきっぷ
- ⑦通常の鉄道、バスの切符



図1 今回分析したアンケートの設問（動態調査）

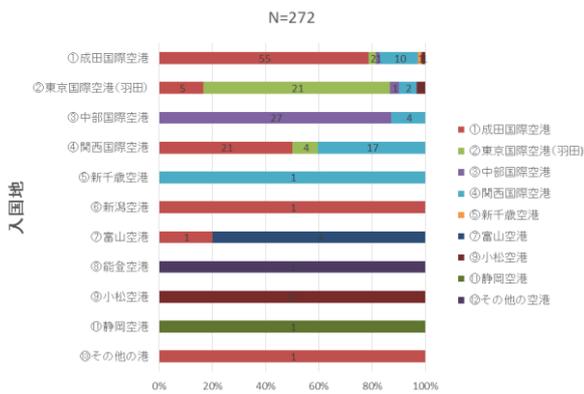


図2 入国地×出国地のクロス

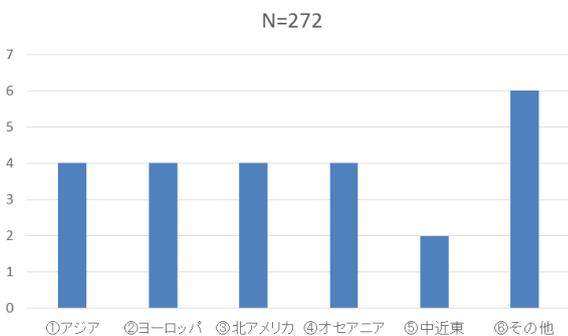


図3 出身地域×訪問都市数のクロス

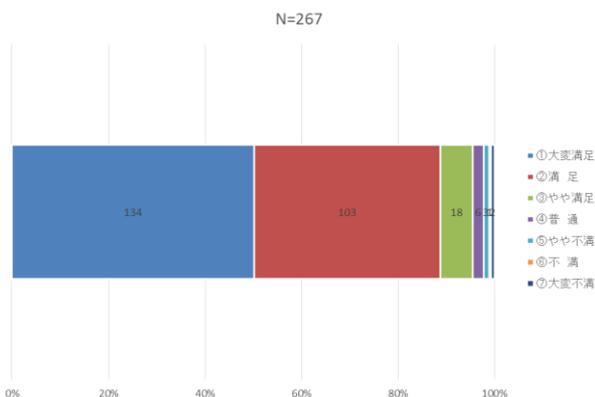


図4 石川観光の満足度（単純集計）

図2より、基本的には入国した空港を帰国の際にも利用する傾向があることがわかる。また、回答者数に注目すると、成田国際空港、東京国際（羽田）空港、中部国際空港、関西空港、小松空港の5つの空港の利用者が多く、中でも成田国際空港の利用者が多いことが分かる。

図3に関して、アンケートの設問内では、実際の出身国を選択してもらっているが、サンプル数が少ないため、国籍ごとではなく地域ごとにグループ分けを行って集計してある。図より、出身地域ごとの訪問都市数に違いはなく、石川以外に概ね4箇所の都市を訪れていることが分かる。

図4は、消費満足度調査アンケートの設問の一つである。全体の8割以上の外国人観光客が石川訪問に関して、高い満足度を感じていることが分かる。

5. まとめと今後の課題

本研究では、1年を通じて、外国人観光客約1000人を対象にアンケートを行い、動態・消費・満足度に関して集計および分析する。アンケートの集計結果より、石川を訪問した外国人観光客の基本的な動態傾向を把握することができた。現段階では、外国人観光客を対象にしたアンケートの回収サンプル数がまだ少なく、分析結果に信憑性が欠けている。調査および集計を1年続けることで、より詳細な分析を行い、外国人観光客の動向の傾向を明らかにしていきたい。

参考文献

- 1) 訪日外国人旅行者調査
<http://www.jnto.go.jp/jpn/>
- 2) 訪日外国人消費動向調査
<http://www.mlit.go.jp/common/001084273.pdf>
- 3) 小松牧, 中山徹: 日本学政学会誌, Vol.58 No.6 p343-355, 2007
- 4) 金沢市観光戦略プラン
http://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/2289/1/kanko_plan.pdf